



消防署 紙上公開シリーズ

望楼勤務

われに火災発見の機を

消防署員は昼夜寒暖の別なく地上20メートルの望楼で監視をつけております。

望楼勤務は消防署の目であり、勤務は1時間毎の交代制で、勤務員には火災を早期発見する義務と責任が課せられています。望楼から発見される火災件数は比較的少ないが、火災の規模損害額は電話その他の火災通報手段によるものを、はるかに超えております。こころみに昭和37年における全国火災について調べてみると、望楼発見された火災の1件当り平均焼損面積は約180㎡であつて、電話によるものは約50㎡となつております。

望楼発見が早ければ消防隊の出動が早くなり、火災防ぎよ活動を有利に導くことができるのです。そのため勤務員は火災の特徴、地形、目標などをくわしく知っていなければなりません。そして早く、しかも正確に発見したときこそその真価が発揮されるのです。

寝しづまつた街、点滅する灯火を眼下に今日も消防署員は火災から市民を守るため監視をつけています

(写真……寒風をついて今日も望楼で目を光らせている消防署員)

- ★富士造機KK(吉原)一名
- ★設計製図工 経験三年以上、年令二〇、四〇★青木コンクリ
- ★女子
- ★婦製紙KK(吉原)一名
- ★事務員 経験不問、年令一八、四〇★興亜工業KK(吉原)
- ★電話交換手 経験不問、年令一八、三三★(株)屋一(吉原)一名
- ★店員 経験不問、年令一八、三三★三陽紙器(吉原)八名
- ★紙包装工 経験不問、年令三五、四〇★日本プラスチックKK(吉原)一名
- ★上工、経験不問、年令一六、二五★神尾紙捻紐(吉原)五名
- ★捻紐工 経験不問、年令二〇、五〇★富士エンジニア(富士)五名
- ★上工 経験不問、年令二〇、二六★大興製紙KK(富士)一名
- ★上工 経験不問、年令一八、四五

春の火災予防運動

2月28日から3月13日まで

春の火災予防運動は、来る三月十八日から三月十三日まで実施します。これは、これから春先にかけて大火シーズンを迎え、火の元に充分気を付けるよう広く一般市民に呼びかける恒例の火災予防運動であります。

従つて前半の一週間は「車両火災防止」に重点をおき、後半の一週間は、「一般火災の予防」と山火事」を防ぐために火気取扱上の注意などに重点がおかれています。

去年に比べ九件減る

富士市の火災

昭和三十八年一年間における

- ◇火災件数 三十九件
- ◇建物火災 二十一件
- ◇罹災世帯 全焼 五世帯 半焼 十七世帯
- ◇焼失面積 三五七、二一平方メートル
- ◇損害額 一〇、二六三、七二〇円
- ◇罹災世帯 全焼 五世帯 半焼 十七世帯

船舶火災 一件 其の他の〃〃 七件

山火事

県下の年間 損害三四〇〇万円が灰

森林にとつて最も恐ろしいのは山火事です。どんな森林でも一度山火事にあつたらば黒く焦げられて大被害を蒙ります。山火事の原因は、タバコの吸

◇傷者 五名
火災件数は前年よりも九件減り、焼失面積は五一四、五四平方メートル、損害額は二九〇万円、一一〇〇円の減少。

◇建物火災一件当りでは焼失面積約十七平方メートル、損害額一八九、二七円の割となつております。

◇火災発見の種類別では一般市民の電話通報によるもの三千一件、鎮火後届出のもの二件、望楼発見に

よるもの五件、その他一件となつております。

◇月別では一月が最も多く九件で、次が十月が八件、三月が五件、四月が四件で、無火災だったのは八月と十一月でした。

◇原因別では一番多かったのが「たばこで次いで「車両の配線ショート」「煙突の過熱」「石油コンロ、ストーブの取扱不注意」「弄火」の順となつております。

求人案内

(吉原職業安定所)

- ト(吉原)一名
- ★経理事務員 二年以上、年令二〇、六〇★田中商事KK(吉原)一名
- ★倉庫係 経験不問、年令二六、二五★(株)屋一(吉原)二名
- ★店員 経験不問、年令一八、三三★昭和製紙KK(吉原)三名
- ★給油係 経験不問、年令一八、二五★和油業KK(吉原)一名
- ★電気工 二年以上、年令一八、四〇★岳南製紙KK(富士)三名
- ★抄紙工 二年以上、年令一八、五〇★大興製紙KK(富士)七名
- ★バルブ工 経験不問、年令二〇、四五★美尾鉄工所(富士)四名
- ★旋盤工 二年以上、年令二〇、二六★富士川開発(富士)三名
- ★大型運転手 大型免許 年令二〇、三〇